

様式第 2 号

視察研修先	群馬県桐生市議会	氏名	木村 寿太郎
視察研修項目	まちづくり討論会について		
<p>桐生市は古くから織物のまちとして発展し、大正 10 年（1921 年）に全国 84 番目の市として誕生した。群馬県の東南部に位置し、栃木県の足利市と接し、東京には JR で 1 時間 40 分で結ばれ、新幹線による通勤圏にも入っているとのこと。今でも織物の糸へんでいきているまちですが、近年は自動車関連部品やパチンコ台の製造など金属産業などが基幹産業となってきたおり、人口も 11 万人を超えている。</p> <p>今回の研修項目は「まちづくり討論会」についてであり、平成 23 年 7 月には桐生市議会は、議会が果たすべき役割として 3 つの柱（1）情報公開（2）住民参加（3）議会機能強化を目標に「議会基本条例」を制定・施行した。</p> <p>桐生市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査 2018」ランキングが全国 6 位という報告が北川議長よりあり、第一声でこぶしを高く挙げておられました。質疑応答の際の回答は、ほとんど議長からあり、自信に満ち溢れた意気込みと一生懸命さが伝わってまいりました。これは桐生市議会の議会改革の一環としてまちづくり討論会・常任委員会の積極的な調査活動・議会の災害対応指針の制定、政務活動費の収支報告書や視察報告書のホームページ公開、大学生や中学生の職場体験の受け入れなどの新たな取り組みが大きく評価されたものではないかとおっしゃっておいりました。</p> <p>その中での、まちづくり討論会は「桐生商業高等学校」「桐生大学生」「桐生市婦人団体連絡協議会」「新入社員との懇談会」など各種団体との一連の効果も市民からも好評である。</p> <p>とくにその一部である大学生との討論会を一部抜粋してみる。</p> <p>Q、大学を卒業後は地元で働きますか？その理由は？</p> <p>A、①桐生市民は人もやさしく環境も良いので、ぜひ桐生市で働きたい、そして市役所で地域の方を対象に保健活動をしていきたい</p> <p>Q、桐生市の良いところは？</p> <p>A、①この地域はお年寄りの活動や意識が盛んであり、高齢者の住みやすいまちである ②駅から近いところに高校が多く、伝統を大切にしている大好きな町である</p> <p>Q、どういう取り組みがあれば政治や市議会に興味を持てますか？</p> <p>A、議員がどういう取り組みをしているのか若い世代にはなかなかわかりづらい。議会だよりのほか、SNS でも発信して欲しい</p> <p>このような「まちづくり討論会」は議会報告会などとは違い、どちらからと言うと議会側から市民に質問を投げかけるという形式を取っており、このようなキャッチボール方式もなかなか良いものであると感じてきました。</p> <p>帰り際、私に議長が個人的に議員にとっては、涙が出るような若い世代から勇気づけられる応援メッセージを頂いたというお話もありました。</p> <p>こういう機会をもっと早くから、そして不安がっているより、実現に向けて、積極的に行うことにより、議会が市民から理解も得られ、結果はよりよい方向に進んで来ているとおっしゃ</p>			

っていたのが印象的でした。

この視察研修を受けても、やはり I T時代でありフェイスブック・ツイッター・SNSなど利用する発信に、本市も関わっていかなければならない時期なのかと思ってまいりました。

様式第 2 号

視察研修先	埼玉県上尾市議会	氏名	木村 寿太郎
視察研修項目	常任委員会の動画配信について		
<p>埼玉県上尾市は昭和 33 年に 3 町で合併し、当時 3 万 7,000 人の人口であったが、昨年 60 周年を迎えその間、都市圏へのベッドタウンとして栄え、驚異的な増加率である。現在の人口は 22 万 8,500 人を超えたが、最近は微増減という状況である。</p> <p>視察項目は「常任委員会の動画配信について」であるが、目的は、上尾市議会インターネット議会中継要領によると、議会基本条例による開かれた議会づくりを目指す一環として、インターネットを介して市議会の活動状況を映像配信し、もって市民に身近な議会づくりを行うこととある。</p> <p>本会議は既に、平成 17 年 3 月から中継を行っているが、ライブ中継は高コストであり、また問題発言などがあったときの処理も考え、現在は録画配信のみで行っている。もし今後、ライブ中継を行うのであれば、経費の事を考え YouTube を選択する決定をした。YouTube を使うメリットは経費が安い・速報性が高い・人気サイトに登録されると視聴者増に繋がる。</p> <p>デメリットは保守やサポートがない・システムダウンしてもクレームが言えない・映像編集、配信、データ管理などの運営負担増などいろいろな点での不具合がある。</p> <p>その後、常任委員会、特別委員会だけでなく議会運営委員会や、ライブ中継も行って欲しいなどと市民からの要望も多いが、まだ 1 回目をこの 6 月に始めたばかりで多くの課題があるのも事実であるとおっしゃっていただきました。</p> <p>本市でも、議会改革の一環としても取り入れたいが、現状の庁舎の構造から見ても、物理的にも経費的にも無理であるが、議会基本条例を施行し、すでに 7 年も経過しているので、その他のソフト面での、いろいろな対策を早急に講じなければならないと個人的には考えている。</p>			

様式第 2 号

視察研修先	埼玉県上尾市議会	氏名	木村 寿太郎
視察研修項目	議会における災害発生時の対応について		
<p>上尾市は大宮台地の中央部に位置し、どちらかと言うと平坦な地域にある。</p> <p>そのために比較的大きな自然災害はなく、台風による浸水・道路冠水・降雹による農作物の被害などである。いつどんな災害が発生するか想定できない被害が多いのが現実である。しかし上尾市の自主防災の組織率が100%と聞き、災害に対する市民の意識の高さを感じた。</p> <p>上尾市議会としても有事の際にはその緊急連絡体制づくりを行い、次のような項目を正副議長に報告後、全議員へ連絡する組織を作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内火災情報報告 ・台風などによる行事の中止 ・議会運営上の緊急連絡事項など <p>議員に係る課題認識、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画において議員の位置付けがない。 ・災害時における議員の安全確認方法を確立する必要がある。 ・議会側で災害対策本部を設置した場合の事務局の職員体制、及び災害対策本部との情報共有・対応などについてルールを作っておく必要がある。 <p>その後、議会における災害発生時に対応するための議会改革特別委員会・代表者会議・全議員説明会・危機管理防災課等その他も含め10回以上に及ぶ会議・協議等を行い「上尾市議会災害発生時の対応要領」「上尾市議会災害発生時対応マニュアル」を平成30年11月に制定した。まだ1年も経過していないが、想定課題も見えてきており、12月4日と、1月7日の代表者会議などで決定していくとのことである。</p> <p>寒河江市でも、現在議会報告会を行っているが、「寒河江ダム」の決壊とか放流の問題がとりあげられました。議会としても現場を視察しいろいろな説明を受けましたが、当事者は「当ダムはロックダムであり、絶対決壊するという事はありません」と断言しておりましたが、現在は想定外の有事が多く発生しておりますし、「ダムの放流」による堤防の決壊なども多く有り、市民としても一層の不安を感じており、国交省からの丁寧な説明が欲しいものです。</p>			